

信条

本会は、同窓生相互の連絡を密にして親睦を深め、社会学部及び法政大学の発展のために活動することを目的とする。  
(会則第3条)

法政大学  
社会学部

# 同窓会報

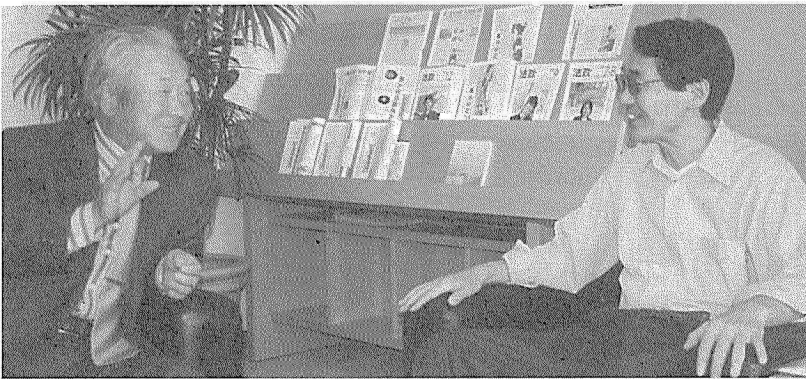
Vol.29

法政大学社会学部同窓会

発行人 鹿山 秀佳(同窓会会長)  
編集人 伊藤 正義(会報委員長)  
〒194-0298 東京都町田市相原町4342  
法政大学3号館(図書館・研究所棟)5階  
TEL・FAX 042-783-2421  
http://www.houseisoc-dousokai.jp/  
郵便振替口座 02東京00140-1-63762

## 新春対談 壽福学部長 明日を語る 鹿山同窓会長

●壽福眞実(じゅふく・まさみ)  
47年鹿兒島県生まれ。一ツ橋大学卒業  
●鹿山秀佳(かやま・ひでよし)  
35年福島県生まれ。59年相野ゼミ卒



## 知的探求心で政策提言を アカデミック・コミュニティの核

社会学部創設50年、多摩移転20年の節目に、4年間一貫教育のカリキュラム大改革が始動。壽福学部長就任と同時に「人間への関心を中心にする、現代社会をトータルに調査研究。よりよい社会生活の実現に貢献する人材を育成する」教育目標で3学科体制7コース・8プログラムがスタートしました。

### 伝統的なゼミ活動

### ミニSAも開始

司会 多様な選択と系統的な履修を実現させた画期的な教学改革の初年度の進捗状況は如何ですか。

壽福 7コース8プログラムの制はゼミと並んで学生が勉強するコアの部分です。基本構想はすでにできていたが、今年の課題は実際に学生が勉強できるように作り上げていく過程です。

コース・プログラムのグループの責任者を設定し会議を持ち、それぞれの目標・理念を追求する作業が進み内容も具体化している。

もう一つは、ステディ・アブロード(SA/留学制度)です。アメリカ、カナダ、中国の3ヶ国・5大学で委員会の先生が引率して、順調に実施されています。来年からはフランス、ドイツ、中心にミニSAを開始する予定です。

司会 学部前身の中央労働学園の頃から受け継がれた現場主義の伝統的なゼミ活動を重視しているようですが、壽福 もう一つの柱であるゼミをコアにしたアカデミック・コミュニティの核はひとり一人の学生が市民として社会に出た時に「知的探究心」を失はないということ。あるいは、問題を情緒的に捉えるとか、マ



## 名誉教授 登場

毎朝モーツァルトを聴くことから一日を始めるよき師・船山栄一名誉教授をホッパードタワーに迎え、伺いました。(編集伊藤)

た翌年58年に経済学部の宇野弘蔵、社会学部原論の北川隆吉先生と同じ年の赴任です。

船山 東大の大学院を修了した年に社会学部の一一般公募があり、論文を提出し採用されました。法政は大内兵衛総長時代以来「公募」ということで「情を押しつけて実力」でスタッフを集めていた伝統があります。

同年輩では、応用経済の土生、社会の北川、芝田、増島先生と言ったところ。多摩に移転して5コース制が導入された4年目の

丁度2000年に土生、

88年に、1年間学部長に就任され如何でしたか。

船山 4年間一貫教育体制の導入と同時に教員の組織も教養部と専門部の枠を外したテリで教育をする方向と、学内紛争対策でなくもっと学生の方を向いて教

育改革の調整に努めた時代

石川、石垣、高藤先生と

年生にも解るように一つの論文としてまとめる訓練にもなる訳です。ゼミの集団作業ですから、チームワークが試される。また、必要なデータや文献収集が手配

も重要です。つまり「知的探究」を続ける、皆で協力してチームワークでやることの一歩の基本的信頼関係です。

先生も含めてお互いに信頼し合っている関係が、初め

どのゼミもおのずとフィールドワークを中心にしていきますから、かなり親密な人間関係ができてい出来ないので、社会学部のゼミは非常に特色がある。やはり

船山 戦後60年の間に物質的な豊かさや便利さは想像出来ない程向上した反面失ったものも大きい。一言すると、社会の各領域でモラルの低下・衰弱が気になる。日本人古来の徳目「誠実」「辛抱」「献身」の気風がなくなり、「癒し」「優しさ」を追い求め戦前の「開けワタツミノ声」に象徴される「剛毅」に欠け、凛としたものが同時に必要なのではないか!

## 知的共働の場づくり 遣り甲斐・教え甲斐の教員

活き活き光り輝く学生

ある種の伝統のもつ力の部分もあると思います。

教員と学生の共働

鹿山 いま、学部長の話を聞いてみると、学生がゼミを中心に非常に活発になっ

## 新年初顔合せは箱根駅伝マラソン

社会学部同窓会の新年初顔合せは箱根駅伝・復路日に校友連合会横浜支部の応援場所に集結して開幕。

\*開催日 平成19年1月3日(水)  
集合時間 午前11時20分  
集合場所 JR横浜駅東口下車  
崎陽軒前(校旗が目印)  
応援場所 横浜・築地橋  
午前12時頃トップ通過  
新年会場 重慶飯店・新館ロビー3F  
横浜市中区山下町77  
電話 046-681-3311  
開宴予定 午後1時~  
会費 6,000円  
連絡先 事業委員・中山まで  
電話 046-275-3022